

プロポーザル方式における審査の項目

	配点	評価の視点	内訳
組織評価	30	事業者の評価（担当者の保有資格など） 本業務と同種又は類似業務について過去の実績が豊富で業務の着実な実施が期待できるか。 実施体制・管理責任者が明確化され、適切な人員配置が行われているか。受託者の役割が明確で、町の要請や協議に対して柔軟な対応が可能か。	15 15
提案内容評価	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT の採用基準（学歴資格・日本語能力の条件の明確化等）及び採用方法は適切か。</li> <li>・在籍 ALT の人数・勤続年数</li> <li>・雇用の安定性</li> <li>・業務の質を確保するための研修（回数・期間・内容等）を行う体制が整っているか</li> <li>・契約期間中の研修は十分に行われるか</li> <li>・業務の未熟な部分に対するフォロー研修は行われるか</li> <li>・ALT の勤務状況の把握方法、勤務評価の方法、連絡体制、その他労務管理の体制は適切か</li> <li>・勤務評定並びに評価後の指導体制と内容が十分であるか</li> <li>・事故・欠員・トラブル・緊急時の体制は十分であるか</li> <li>・各種保険への加入等は適切か</li> <li>・法令遵守、リスク管理（個人情報の漏えい防止）の取組は十分であるか</li> <li>・教育委員会、学校、保護者からの要望、苦情等に適切に対応できる体制であるか</li> <li>・労働者派遣法に関する諸手続きなど、学校・教育委員会のサポート体制は充実しているか</li> <li>・新学習指導要領の趣旨を理解し、本町における ALT の在り方・重要性について理解しているか</li> <li>・新学習指導要領に対応した教材・教具の開発や指導方法などの研究体制が適切であるか</li> <li>・ALT が教員に対して、効果的な外国語教材及び学習プログラム、指導方法、アイデア等を提案できるか</li> <li>・教員との事前打ち合わせ等、授業を円滑に進めるための準備行為が適切であるか</li> <li>・授業外の ALT の効果的な活用について提案はあるか</li> </ul>	10 15 10 20
		資料等が分かりやすいか、誤字脱字が少ないか	5
		説明に説得力があるか	5
		積極的に取組む意欲を感じられるか	5
合計	100		

## ○評価の方法

- 1 評価は、審査委員会で行う。審査方法は、企画提案書等の書類、プレゼンテーションについて予め定めた評価項目及び評価点に基づいて評価を行う。
- 2 審査委員 1 名あたり 100 点満点、合計 500 点満点で、各審査委員の採点の合計点が最も高い者を受託候補者とする。なお、各審査委員の採点の合計点で 300 点を最低基準点とし、それ以上の点数を得た提案者の中から受託候補者を決定する。
- 3 点数が同点となった場合は、次の順によって決定する。
  - (1) 評価項目（提案内容評価）の点数が大なる者
  - (2) 見積金額の加算点を加えた点数の合計が大なる者
- 4 最低基準点以上の者がいなかった場合は、受託候補者の決定は行わない。